



<定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~50週
	第49週	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(45)			(10)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	35 0.01		1 0.02	Δ		1 0.10	Δ													68
小児科定点 (定点医療機関数)		(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	939 0.30																			3044
咽頭結膜熱	797 0.25	18 0.62	21 0.72	Δ	3 0.50	6 1.00	Δ	3 0.43	4 0.57	▲			9 ◎1.50	9 ◎1.50		3 0.43	2 0.29	▽	588	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2159 0.68	67 2.31	60 2.07	▽	3 0.50	2 0.33	▽	57 ◎8.14	47 ◎6.71	▽			7 1.17	10 1.67	Δ		1 0.14	Δ	1513	
感染性胃腸炎	20947 6.65	133 4.59	218 7.52	▲	40 6.67	32 5.33	▼	38 5.43	54 7.71	▲	2 0.67	4 1.33	▲	42 7.00	98 16.33	▲	11 1.57	30 4.29	Δ	3428
水痘	450 0.14	4 0.14	3 0.10	▽	1 0.17	2 0.33	▲	1 0.14		▼			1 0.17		▽	1 0.14	1 0.14		139	
手足口病	3583 1.14	5 0.17	10 0.34	▲				1 0.14	1 0.14				2 0.33	9 1.50	▲	2 0.29		▽	99	
伝染性紅斑	36 0.01		1 0.03	Δ													1 0.14	Δ	17	
突発性発しん	1030 0.33	9 0.31	19 0.66	Δ	2 0.33		▽	1 0.14	2 0.29	Δ		3 1.00	Δ	3 0.50	6 1.00	Δ	3 0.43	8 1.14	Δ	706
ヘルパンギーナ	909 0.29	12 0.41	6 0.21	▽		2 0.33	Δ	8 1.14	2 0.29	▽			4 0.67	2 0.33	▽				432	
流行性耳下腺炎	91 0.03	1 0.03	1 0.03								1 0.33	1 0.33							56	
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	-																		0	
流行性角結膜炎	119 0.17	1 0.13	4 0.50	Δ		1 1.00	Δ				1 1.00	3 3.00	Δ						68	
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	6 0.01																		1	
クラミジア肺炎																			0	
マイコプラズマ肺炎	7 0.01																		5	
細菌性髄膜炎	10 0.02																		2	
無菌性髄膜炎	7 0.01																		0	

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

◎:警報レベル ○:注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1	1			1	
レジオネラ症	2	2				
アメーバ赤痢		1				※第49週追加報告分。
侵襲性肺炎球菌感染症	1					ワクチン接種歴:無し。

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。
山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。
(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ														1	1
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱		1	14	3	2		1								21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	7	9	5	9	3	7	3	3	2	6	1	2	60
感染性胃腸炎	1	10	43	41	22	25	15	15	7	9	5	17	2	6	218
水痘			1	1								1			3
手足口病	1		3	5		1									10
伝染性紅斑			1												1
突発性発しん		5	12	2											19
ヘルパンギーナ			2	2					2						6
流行性耳下腺炎							1								1

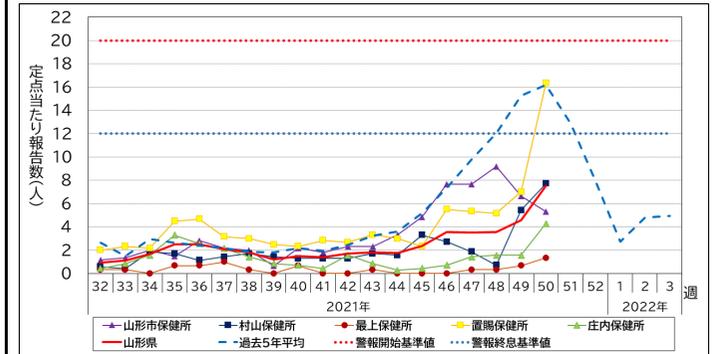
<トピックス>

感染性胃腸炎の報告が増えています

秋から冬にかけては、ウイルスによる感染性胃腸炎が増加する傾向があり、この時期の集団感染の多くはノロウイルスによると考えられています。主な症状は、おう吐、下痢、腹痛、微熱などです。

第50週は、感染性胃腸炎の報告数が増加しており、注意が必要です。

【県内定点医療機関における感染性胃腸炎報告数の推移】



< 令和3年11月 月報 >

2021年12月22日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)	
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	15	6	6			4	1	1	1	3	7	167
	定点当り	1.40	1.50	2.00	2.00			4.00	1.00	0.50	0.50	1.00	2.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	15	9	5	1	1		4	1	3	4	2	3	102
	定点当り	1.50	0.90	1.67	0.33	1.00		4.00	1.00	1.50	2.00	0.67	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	3	3					3	3					22
	定点当り	0.30	0.30					3.00	3.00					
淋菌感染症	報告数	6	5	2	2			2	1	1		1	2	41
	定点当り	0.60	0.50	0.67	0.67			2.00	1.00	0.50		0.33	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	4	2	3			1		1		1	1	42
	定点当り	0.50	0.40	1.00	1.50			1.00		0.50		0.33	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	10	16	2	4	3	2	1		1		5	8	140
	定点当り	1.00	1.60	1.00	2.00	1.50	1.00	1.00		0.50		1.67	2.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1										1		1
	定点当り	0.10										0.33		

ノロウイルスの予防について

1.「手洗い」をしっかりと!

特に食事前、トイレの後、調理前後は、石けんでよく洗い、流水で十分に流しましょう。

2.「人からの感染」を防ぐ!

家庭内や集団で生活している施設でノロウイルスが発生した場合、感染した人の便やおう吐物からの二次感染、飛沫感染を予防する必要があります。

ノロウイルスが流行する冬期は、乳幼児や高齢者の下痢便やおう吐物に大量のノロウイルスが含まれていることがありますので、おむつ等の取扱いには十分注意しましょう。

3.「食品からの感染」を防ぐ!

二枚貝などノロウイルスの汚染のおそれのある食品の場合、ウイルスを失活させるには、中心部が85℃～90℃で90秒間以上の加熱が必要とされています。

また、まな板、包丁などは使用后すぐに洗きましょう。熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱消毒が有効です。

(出典:「ノロウイルス(感染性胃腸炎・食中毒)対策」(首相官邸ホームページ))

